

このたび、2022年9月10日に、秋季大会と総会が明治大学・駿河台キャンパスおよびオンラインで予定どおりに行われました。会員のみなさまのご協力に感謝いたします。

新体制の発足について

今年度は、日仏哲学会執行部・理事会の新体制の年となります。2022年7月の理事選挙の結果を受けて、以下の20名が理事に選出されたことが総会で報告され、新理事として承認されました。

上野修、小倉拓也、加國尚志、亀井大輔、合田正人、郷原佳以、米虫正巳、澤田直、杉村靖彦、杉山直樹、鈴木泉、津崎良典、渡名喜庸哲、長坂真澄、西山雄二、檜垣立哉、平井靖史、廣瀬浩司、藤田尚志、村松正隆（以上、50音順）

また、同年8月15日の臨時理事会、9月6日の編集委員会での決定に基づき、執行部の新体制案が提示され、総会で以下の通り承認されました。

会長＝檜垣立哉 副会長＝上野修、長坂真澄 事務局長＝西山雄二
編集委員長＝津崎良典 副編集委員長＝渡名喜庸哲

新事務局の住所、およびメールアドレスは以下の通りです。ご確認ください。

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

東京都立大学 人文科学研究科 西山雄二研究室内

メール：secretariat.sfjp(at)gmail.com ※ご連絡の際は(at)の部分を@に置き換えて下さい。

新体制の下、日仏哲学会の活動を一層盛り立てていきたいと考えております。事務局移転期間中はご面倒をおかけすることがあるかもしれませんが、ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

総会での審議・議決事項について

新体制の発足以外の、総会での審議・報告事項は以下の通りです。

- 1) 昨年度決算、今年度予算について、下記（別紙資料）のように総会で承認されました。
- 2) 今年度の事業予定について、下記（別紙資料）のように総会で承認されました。すでに行われた事業については、日仏哲学会HPの方をご覧ください。
- 3) 機関誌について、第27号が刊行されることが編集委員長から報告されました。今号から電子化されてJ-Stageと学会ウェブサイトで公開されます。印刷版はごく少数にとどめて、シンポジウム参加者、公募論文執筆者、書評執筆者のみへの配布とします。
- 4) 2022年日仏哲学会若手研究者奨励賞が、榮福真穂氏（論文「『省察』の観念説における質料形相論」）に授与され、表彰式が行われました。

5) 本学会主催の国際シンポジウム「ジャン＝リュック・ナンシーの哲学—共同性、意味、世界」について、発表辞退者が2名出たことに関して会長から説明が行われました。

機関誌『フランス哲学・思想研究』の電子化

第27号から電子化されてJ-Stageと学会ウェブサイトで公開されます。J-Stageでは個別の論文が、学会ウェブサイトでは全頁PDF版が公開されます。また、バックナンバーも順次アップロードしていきます。

機関誌『フランス哲学・思想研究』の訂正

先般オンラインで発行しました『フランス哲学・思想研究』第27号に掲載の公募論文応募規定(292頁)につきまして、応募資格を「日仏哲学会会員」とのみ記載しましたが、正しくは「日仏哲学会会員(ただし機関誌最新号に公募論文が掲載された者は次号には応募できない。)」です。お詫びして訂正します。

ウェブサイトのリニューアル

本学会ウェブサイトのデザインを一新しました。

<https://sfjp-web.net/>

必要な情報はすべてサイトに集約しています。また、関連するイベント情報も掲載いたしますので、事務局までご連絡下さい。



機関誌への投稿について

機関誌『フランス思想・哲学研究』次号に公募論文を応募される方は、本年12月31日までに、下記投稿規定中の編集委員長の e-mail アドレス宛に、PDFファイルにて完成原稿をお送り下さい。(投稿規定はHPからもご覧いただけます。)

『フランス哲学・思想研究』公募論文応募規定

- 1) テーマ：フランス哲学・思想に関するもの、日仏両哲学界の交流に寄与するもの
- 2) 応募資格：日仏哲学会会員(ただし機関誌最新号に公募論文が掲載された者は次号には応募できない。)
- 3) 応募原稿の形式：ワープロソフトによる完全原稿のPDF。和文・仏文を問わず、1行全角43字(半角86字)の設定で横書き、タイトル、著者名、注も含めて370行以内。注はワープロソフトの脚注機能は使用せず、本文の該当箇所に通し番号1)、2)、.....をつけ、本文の後に置くこと。和文・仏文いずれの場合も仏語レジュメ(上記設定でタイトルと著者名も含め12行以内)を本文とは別のページに付すこと。氏名、住所、電話番号、E-mailアドレス、生年月日(若手研究者奨励賞対象者確認のため)を記した応募者情報を、別紙のPDFとして添付すること。
- 4) 原稿作成上の注意：欧文のハイフンは本来のものだけとし、改行時には入れないこと。また仏語レジュメは、ネイティブ・チェックを受けるなど、著者が責任をもって点検を済ませておくこと。
- 5) 応募期間：当該年度の12月1日～31日。件名を「フランス哲学思想研究公募論文」としたメールに原稿等のファイル(本文・仏語レジュメ・応募者情報)のPDFを添付し、編集委員長宛に送付すること。仏語レジュメを含む論文のファイル名は「日仏28_査読論文_姓名」とし、応募情報のファイル名は「日仏28_応募情報_姓名」とすること。
- 6) 原稿送付先：津崎良典 [tsuzaki.yoshinori.gn\(at\)u.tsukuba.ac.jp](mailto:tsuzaki.yoshinori.gn(at)u.tsukuba.ac.jp)
※ご連絡の際は(at)の部分を@に置き換えて下さい。

7) 審査：掲載の可否は編集委員会で決定し通知する。掲載決定の場合、応募者は指示された期日までに、原稿（本文・仏語レジュメ）の電子ファイル（Microsoft Word 2013以降のバージョンで作成したもの、それ以外の場合は要相談）を添付ファイルとしてメールで編集委員長宛に送付すること。

書評対象作の推薦について

編集委員会では新体制発足に伴い、『フランス哲学・思想研究』掲載の「書評対象作選定の基準」を以下のように改定しました。

- ・書評対象として、直近の会費納付済み会員が前年1月1日から12月31日まで出版した著作を候補とする。ただし、それ以前の著作でも漏れていたものを取り上げることは可とする。
- ・書評対象作は編集委員会で決定する。
- ・会員によるものであっても翻訳書は原則対象外とする。
- ・書評対象作のリストアップのため、会員より自薦・他薦を受け付ける。自薦の場合は、著書を編集委員長宛（〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学人文社会系 津崎良典）に郵送することが望ましい。

これに伴い、書評対象作の推薦を受け付けます。締切は2023年1月15日、編集委員長までメールでご連絡下さい（メールアドレスは前掲）。

また、新体制発足と同時に編集委員会では機関誌の今後のあり方について検討作業を開始し、とりわけ書評欄についても全体のバランスを考慮して検討する方針を採ったことをご報告します。

2023年春季大会への一般研究発表の応募について

2023年春季大会は3月18日（土）に早稲田大学にて開催される予定です。

発表希望者は 2022年12月31日までに、発表要旨（日本語の場合は 1200 字以内、フランス語の場合は300mots以内）をウェブサイトの応募フォームにて記入して下さい。

発表時間は25分で、15分の質疑応答付きです。採否は翌年1月末日までに決定いたします。

会員の皆様へのお知らせとお願い

1) 会費納入のお願い

総会でも報告したとおり、本学会の財政状況は安泰とは言えない状況が続いています。機関誌電子化によって、支出を抑える努力はいたしますが、基本的に会員からの会費納入によって本学会の運営は成立しています。

つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費（4,000円）を納入して下さいますよう、改めてお願い申し上げます（末尾に記載の学会郵便振替口座から常時お振込みいただけます）。当学会の会計年度は9月開始となりますので、その点もご承知おき下さい。

2) メールアドレスご登録のお願い

機関誌電子化に伴い、「会報」も次号からすべてメールでの配布となります（会報はウェブサイトで随時閲覧可能です）。まだメールアドレスを登録していない方は、下記事務局までご一報下さい。

【日仏哲学会事務局】

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

東京都立大学 人文科学研究科 西山雄二研究室内

メール：secretariat.sfjp@gmail.com

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会